

2023年12月16日



報道関係者各位

こども防災協会

災害時に役立つ！「うき」を手作り

【なつ★スペシャル】を開催しました！

2023年8月15日(火)～17日(木) 【千葉県立鴨川青少年自然の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、8月15日～8月17日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「なつ★スペシャル」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

開催概要: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【なつ★スペシャル】

日程: 2023年8月15日(火)～17日(木)

開催場所: 千葉県立鴨川青少年自然の家

参加人数: 合計115名

参加者内訳:こども90名(小学生、内被災経験4名)／ボランティア18名／スタッフ4名／バス運転手3名

ボランティア出身国:全11カ国(シリア・フィリピン・マレーシア・ベトナム・チリ・インドネシア・ミャンマー・エジプト・インド・ネパール・中国)

花火をつくろう

それぞれが自宅から持ち寄った空き缶を使って、花火をつくります。はじめは「この缶なにに使うんだらうって思った！」と不思議に思っていた子どもも、花火がつかれると知りわくわくした様子でした。やすりで一生懸命空き缶を削り、粉を集めていきます。手を真っ黒にしながらも一心不乱に削っている子どもたちの姿が印象的でした。それをセロハンテープにくっつけて、割りばしにくくとあつという間に花火が完成。夜はそれを持って、実際に手作り花火に点火します。「うわ！花火だ！」「本当についた！！」「すごい！」など、子どもたちは大喜び。中には失敗してしまい、火がつかない子もいましたが、スタッフやボランティアが作った花火も一緒に使いながら、みんなで楽しい夜を過ごしました。



SUPにのろう

お天気が良かった2日目に、こどもたちが楽しみにしていた「スタンドアップパドルボード(SUP)」に乗りました。サーフボードに立つこと、オールをこぐこと、どちらも初めてだった子も多かったですが、救命胴衣の着用方法を学び、まずは陸の上でイメージトレーニング。その後ボランティアの支えがありながらも、積極的に海に入っていきます。まずはボードの上に座って慎重に進みます。高学年の子が、低学年の子をサポートする姿もみられ、最後には全員がボードの上に立って、海の上を疾走していました。



参加した子ども・保護者からの声

「缶でつくった花火に火がついたときは、本当に嬉しかったです！」

<団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名: こども防災協会

担当者名: 鹿島 美織

電話: 090-6684-9696

メールアドレス: volunteer@kodomo-bousai.net